

小松市医師会・能美市医師会・加賀市医師会

学術講演会

開催日: 2017年2月16日(木)

時 間: 19:00~

場 所: ルートイングランティア小松エアポート 2F 「鏡花の間」
石川県小松市長崎町4-116-1 0761-23-7000

総 合 司 会 東野病院 副院長 東野 朗先生

情 報 提 供

アルツハイマー型治療薬 メマリー錠について 第一三共株式会社 林田卓也

特 別 講 演

<座長> 栗津神経サナトリウム 理事長 秋山 典子 先生

<演者> 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学 教授 三村 将先生

「認知症と自動車運転－ 現状の課題と今後の展望－」

石川県医師会受講履歴管理カード (IMAカード) をご持参ください

- *この講演会は石川県医師会生涯教育講習会(2単位)に該当します。
- *この講演会は石川県臨床内科医会(5単位)に該当します。
- *この講演会はカリキュラムコード(7.29)に該当します。
- *この講演会は石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度シール(1単位)に該当します。
- *この講演会は石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度シール(1単位)に該当します。

当日は、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い申し上げます。

ご記帳いただきましたご施設名、ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。

何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催 小松市医師会 加賀市医師会 能美市医師会 石川県臨床内科医会
小松能美薬剤師会 石川県病院薬剤師会 第一三共株式会社

学術講演会

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授

みむら まさる

三村 将 先生

【ご略歴】

1984年 慶應義塾大学医学部卒
1984年 慶應義塾大学医学部精神神経科 研修医
1986年 ペルー国リマ市国立精神保健センター 派遣専門家
1990年 慶應義塾大学医学部精神神経科 助手
1992年 ボストン大学医学部行動神経学部門、失語症研究センター、
記憶障害研究センター 研究員
1994年 東京歯科大学市川総合病院精神神経科 講師
2000年 昭和大学医学部精神医学教室 助教授（呼称変更に伴い、准教授）
2008年 スタンフォード大学精神科 訪問教授
2011年 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 教授
2013年 慶應義塾大学病院副院長、漢方医学センター センター長兼任
2014年 慶應義塾大学百寿総合研究センター 副センター長兼任
2015年 慶應義塾大学ストレス研究センター センター長兼任



【専門】

老年精神医学、神経心理学
認知症、もの忘れ、頭部外傷、老年期うつ病

【役員学会】

日本高次脳機能障害学会理事長、日本うつ病学会理事、日本神経心理学会理事、日本老年精神医学会理事、日本精神神経学会代議員、日本神経精神医学会理事、ポジティブサイコロジー医学会理事、日本認知症学会理事、運転と認知機能研究会世話人代表など

【主な著書】

EBM精神疾患の治療（中外医学社）、高次脳機能障害マエストロシリーズ（医歯薬出版）、認知症の「みかた」（医学書院）、老年期うつ病ハンドブック（診療と治療社）、新しい診断と治療のABC：認知症（最新医学社）、精神科研修ノート（診断と治療社）、老年期うつ病がよくわかる本（講談社）など

【講演要旨】

超高齢社会の進展する日本では、高齢ドライバーの過失責任が重いとみられる死亡事故が増加している。ひとつの深刻な問題として、「健康な」高齢ドライバーの中に明らかな認知障害を有する認知症ドライバーが混在している点が挙げられる。現在、75歳以上で運転免許の更新を行う際には認知機能検査が義務づけられているが、さらに新たに改正道路交通法が2017年3月より施行されることに伴い、認知機能検査を受検することになる高齢ドライバーの数が飛躍的に増大することが見込まれている。本講演では認知症・高齢者の運転能力、特に道交法に定められている「認知・予測・判断・操作」の能力をどのように評価していくかについて述べる。さらに、運転が不適と思われる認知症の場合に、運転中止後の生活サポートをどのようにしていくかについても触れる。